

令和4年5月30日

弘前市文化芸術振興計画 基本目標・事業評価管理シート事務局案について

弘前市文化芸術推進審議会事務局 作成

ここでは、事務局が作成した弘前市文化芸術振興計画に係る基本目標・事業評価管理シート（以下、進行管理シートという。）案の仕組みについて説明いたします。

1. 進行管理シートとは

進行管理シートは、弘前市文化芸術振興計画に記載された文化芸術振興の取り組みが市でどのように遂行されているかを、審議会委員の皆様が確認するためのツールです。

計画策定時に掲げた5つの基本目標や、目標達成に向けた施策に紐づく各種事業の実施状況を、定量・定性の両方の視点から、市の事業担当課が評価したものを掲載いたします。

2. 進行管理シートの仕組み

進行管理シートは、以下の2つの要素から構成されます。

(1) 基本目標達成状況評価管理ページ

基本目標1～5の達成度について、計画策定時に定めた指標の達成度及び定性面から総合的に評価します。

5段階の評価基準を設けており、各段階の評価基準については以下のとおりです。

- ◎：順調に推移している。
- ：おおむね順調に推移している。
- ：変化がない。
- △：やや悪化している。
- ×：悪化している。

(2) 施策に係る事業の実施状況評価管理ページ

基本目標達成に向けた施策（計画第4章参照）に紐づく各種事業の実施状況について、事業担当課が定めた参考指標の達成度及び定性面から総合的に評価します。

3段階の評価基準を設けており、各段階の評価基準については以下のとおりです。

- A：予定（計画）どおり実施した
- B：おおむね予定（計画）どおり実施した
- C：予定（計画）どおり実施できなかった
（－：コロナ等不可抗力により実施できなかった）

3. 基準値について

各種指標では2020年度の実績値を基準値として設定しております。これは、新型コロナウイルスの影響下での事業実施が当面続くことを想定して、コロナ禍における事業の展開状況を適切に評価するために採用しております。

※計画 p.57 では、基本目標の基準値を「基準値（2021年度）」と記載しておりますが、これは、2020年度の実績を2021年度に取得しているため、このような記載としております。

※基本目標の前期目標値の考え方は、人数の基準値についてはコロナ前の水準に回復すること、割合の基準値については毎年数%上昇させることとして設定しております。

4. 定量・定性の両面での評価について

各種事業等への評価については、数値化できる定量評価だけでなく、事業の仕組みづくりや事業実施による副次効果など、数値だけでは見えない事業実施者の創意工夫などの定性評価も踏まえた総合的な評価としております。

以上